



国際関係研究所研究会

コロナは何をあきらかにしたか —中央・地方関係の政治力学

北海道新聞記者で、道政キャップやロンドン特派員などを歴任された志子田 徹 論説委員をお招きし、日本での新型コロナウイルスの感染拡大やそれに対する行政の対応を通して見える中央・地方関係への示唆をお話しいたします。

日時 : 2021年3月3日(水) 17時10分～19時00分
(ZOOMオンライン会議)

論題提起 : 志子田 徹 氏 (北海道新聞論説委員)

コメント

(兼司会) : 若松 邦弘 氏 (東京外国語大学教授)

対象 : 学内 (教職員、学生)

*当日の報告や発言の他所での引用や要約公表はお控えください。
(授業の課題作成を目的とする聴講はできません。)